

第326号

# こうげん 3月号

2022年

発行 高原公民館 (〒696-0406 邑南町高見 3014-3) 電話 0855-84-0521 / IP 電話 050-5207-5500

## 今月の紙面一覧

1. 社会教育フォーラム in 邑南 2021 他
2. さくらまつり中止のお知らせ 他

## 高原地区人口と世帯数

世帯数	合計	性別	
		女性	男性
351世帯 (345世帯)	802人 (807人)	416人 (418人)	386人 (389人)
高齢化率 45.76%	令和4年2月末現在 (カッコ内前年同月)		

## 「公民館をどう実践してゆくの？」 社会教育フォーラムin邑南2021 開催

これからの公民館のあり方、社会教育の可能性について、実践事例を聞き共に考えるための機会として今年も社会教育フォーラムが開催されました。2年ぶりの対面での開催で、フォーラム前に行われたマルシェも大賑わい、あつという間に完売続出でした。

フォーラム前半の事例発表では、①「市木市を通して」、②「中野・井原・矢上公民館合同 中学生SALONではばたく準備」中学生の拠点づくり」、③「井原公民館 大人のアフターセブンス教室について」④「おおなんペンギンプロジェクト」わたしたちがやりたいこと」の4つについてそれぞれ発表されました。これまでの取組から見えてきた課題に対して、どのような工夫をしていたのか、どのように周りを巻き込んでいったのか、そして反省点や今後の展望など、とても面白い発表ばかりでした。後半は、特別講師2名を迎えてのインタビュー、

## よっちゃん館長のくまのいの頃

新型コロナウイルスの感染が減少しているとはいえ鈍い減少にあります。島根県でも連日百人前後の感染者があります。また、ウイルスは次々に変異を見せ新しい変異株が世界でも日本でも確認されています。迫りくる変異ウイルスに感染しないようなお一層の対策を継続しましょう。

そんな中であつて、今、注目されるのはロシアのウクライナへの軍事侵攻です。もともと30年前まではロシアもウクライナもソビエトという国を構成する15の共和国の1つだったので、ソビエト崩壊後15の構成国はそれぞれ独立して新たな国家としての歩みを始めました。専門家によると、もともと8世紀末から13世紀にかけて、今のウクライナやロシアなどにまたがる地域に「キエフ公国」キエフ・ルーシ」と呼ばれる国家があり、その中心的な都市だったのが今のウクライナの首都キエフでした。こうした歴史から同じソビエトを構成した国のなかでもロシアはウクライナに対して特に、同じ

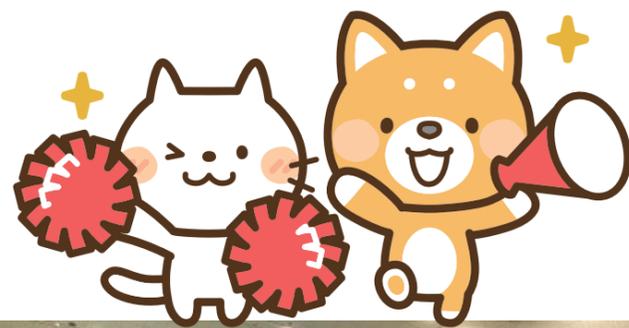
ルーツを持つ国」という意識を強く持つ

ていていると指摘しています。平成26年にウクライナに欧米寄りの政権が誕生すると、プーチン大統領はロシア系の住民が多く、戦略的な要衝でもあったウクライナ南部のクリミアに軍事力を利用して一方的に併合しています。戦争をして悲しい思いと犠牲を伴うのは双方の国民です。ましてや無差別攻撃や核まで持ち出す、原子力発電所まで攻撃するなどもつてのほかです。世界各国はもちろん、ロシア国内でも戦争をやめ平和を願う訴え行動が続いています。戦争は国の少数のトップの思想だけで行われています。過去の戦争での教訓がなぜ生かされないのでしょうか。私は悲しくなりません。これ以上犠牲者が出ないように早く終結してほしいと思います。

だんだんと春を迎え多忙な時期を迎えます。イノシシとの戦いも始まりますが、元気で顔晴りましようね。

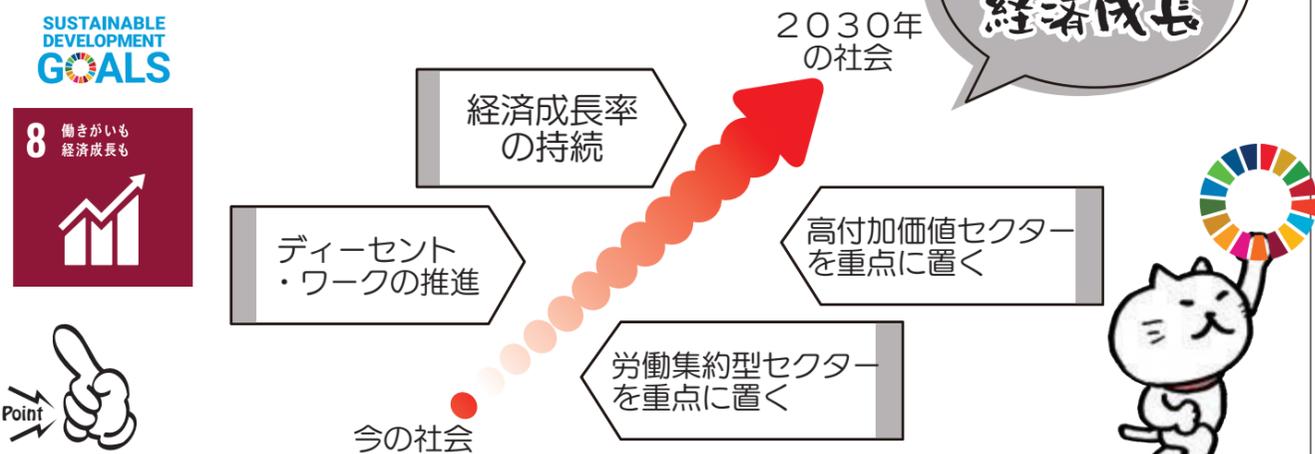


「住民自治の担い手になるには、『私』は『公民館』は、どうあればよいか『人』を育てる公民館」から『人が育つ公民館』へ」をテーマに、明治大学教授 小田切徳美さんと東京大学大学院教授 牧野篤さんが様々な切り口で話を展開していただきました。今回の話の中で特に印象的、お伝えした事は、課題のみが先行していくのではなく、楽しさ・興味などから段階的に進むやらされ感をなくすことが大事、「ごちゃ混ぜ」にすることで得られるもの、の2つです。これらも含め、今回のフォーラムでの学びを、今後の公民館等の活動に反映し、「幸福感」を目指して取組を進めていきたいと思えます。



『“えすでいーじーず”がすぐわかる!』

## 8. 働きがいも、経済成長も



※1 ディーセント・ワーク＝働きがいのある人間らしい仕事  
 ※2 高付加価値セクター＝生産過程を通して原材料よりも高い価格で商品を販売する産業  
 ※3 労働集約型セクター＝人件費の割合が高い産業



# 第33回星が丘桜まつりの中止のお知らせ

日ごとに温かさを感じられるようになりましたが皆さま方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、恒例の「星が丘桜まつり」について、残念ながら昨年引き続き今年も中止することいたしました。

桜まつりの開催はご来場の皆さまからのお花で支えられており、入場制限等を設けることが難しい状況です。また、まつりの醍醐味は地域の皆さんにお集まりいただき、神楽やバザーでの飲食を楽しみながらゆっくりとひと時を過ごしていただくことと考えていますが、皆さまに安心してまつりを楽しんでいただくことが現時点では難しいと判断いたしました。3年続けての開催中止となり大変残念ではありますが、ご理解を賜りたいと存じます。なお、参道等の桜の防除等、活動は続けて参りますので引き続きよろしく願いいたします。



高原の桜を守る会



## 毎月19日は「食育の日」です



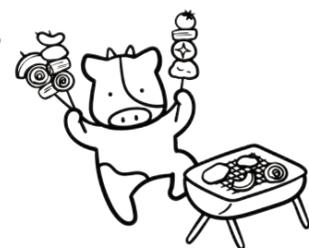
「食育の日」は平成17年の食育推進基本計画の策定に伴い、食育を国民運動として推進するために定められました。食育の日は

「食(しょく)」の読みが しょ→初→1 <→9 につながることで、「育(いく)」の読みが「19」になること

から毎月19日を「食育の日」としております。

- 「孤食」をしない
- 家族や友達とそろって楽しく食卓を囲もう
- 家族で一緒にご飯を作ってみよう
- きちんと朝ご飯をとろう
- 感謝の気持ちを込めて、「いただきます」「ごちそうさまでした」を言おう

など、自分や家族の「食」について考える一日にしてみましょう。



主催：(福) 島根県社会福祉協議会  
共催：高原公民館

## お知らせ広場



# くにびき 公開講座 学園 開催のお知らせ

社会や地域の中での様々なつながりづくりや活動を通した生きがいづくりと仲間づくりの場として実施されている「くにびき学園」の公開講座が以下の日程で開催されます。今回の講座は、公民館でのオンライン受講となります。参加は無料ですが、申し込みが必要です。どちらかひとつだけの参加でも、両方参加でも大丈夫です。詳しくはチラシをご確認ください。

### 〔第1講目〕

演題『ビレッジプライド』

講師 寺本英仁 氏  
(邑南町役場商工観光課課長)

日時 令和4年4月15日(金)  
13:15~14:25

会場 高原公民館

### 〔第2講目〕

演題『地域と共につくるトップブランド  
病院を目指して』

講師 原田 省 氏  
(鳥取大学医学部附属病院院長)

日時 令和4年5月30日(月)  
13:00~14:30

会場 高原公民館



## 「コロナに負けない高原」宣言書

依然猛威を振るう新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の恐怖から、これまでの人と人の関係や地域関係が壊されないために、次のことを宣言します。

- 一. その人を想い、大変な時だからこそ助け合いの気持ちを持って行動しよう
- 一. 「しんどいのはお互い様」の気持ちで責めるのではなく励まし合おう
- 一. 感染症対策で頑張る人たちに感謝しよう

人と人が互いに思いやれる優しい地域、高原を目指してここに宣言いたします。



保育園や小学校の敷地内で積雪時に使用する滑り止めで使用するムシロが不足しています。もし各家庭で余っているものがございましたらお譲りください。もしお譲りいただけるとお譲りください。高原公民館へご連絡ください。

# お譲りください